

SAPPORO SNOW FESTIVAL 2010

★今年の雪像は豆しばに決定★

全気象北海道地方本部 札幌分会青年女性部

2010年2月5日～11日に開催される『第61回さっぽろ雪まつり』。札幌分会青年女性部では、毎年恒例となっている市民雪像制作に今年も参加すべく準備を進めてきました。雪像制作は、申し込みを行った団体のうち、抽選会で当選したグループのみ制作する権利を得ることができますが、今年度は105基の雪像に対し617団体の応募があり、過去最高の5.9倍の倍率となりました。札幌分会青女部も12月10日に行われた抽選会に参戦！満員のホールの中、ミスさっぽろによる抽選が始まると、当選グループからは歓声が、会場内からは大きな拍手が響きます。しかし、今年もなかなか当選しない青女部…。いつもなら「当たらない、当たらない」と言いつつ、中盤で当選していましたが…今年は終盤に入ってもなかなか当たらず、気がつけば残り10基！『外れてしまうのではないか!?』と誰もが冷や冷やしていた頃…残り7基で何とか当選！一同ホッと肩を撫で下ろしました。

過去最高 5.9 倍！満員の道新ホール。



当選した順に雪像制作場所を選びます。



ミスさっぽろによる抽選がおこなわれました。



「当たらないかと思った～」
当選してホッとするY青女部長。

今年の雪像テーマは“豆しば”に決定。
“豆しば”と聞くと、犬の“豆柴”が頭に浮かびますが、制作するのはCM等で人気の体がお豆の犬のキャラクターです。

1月15日には、部長をはじめとする代表者3名で講習会へ参加してきました。講習会では、実際に制作する雪像のモデルを粘土で作り、先生にアドバイスをいただきます。「今年はいつもより簡単そうだね。」と望んだのですが…お豆の形をした体がなかなか難しく参加した3人は悪戦苦闘。やっと体が出来上がったかと思うと、今度は豆しばたちの可愛らしい顔がなかなか可愛らしく作れず…さらに悪戦苦闘。

最大限の努力はしましたが、どう頑張っても“ニセ豆しば”にしかならず、顔は写真を参考に制作することに…。

雪像制作時には、可愛らしい顔の豆しばが出来上がるよう頑張りたいと思います。

思うように作れず苦戦する参加者。
失敗作ができる度に、笑いが起こります。



担当の先生にアドバイスをいただきます。
制作期間中にも見に来てくださいます。

今年の会場は大通12丁目会場、雪像制作期間は1月30日(土)～2月3日(水)ですが、青女部では30日(土)31日(日)の土日での制作を予定しています。制作期間は、天候や進捗状況により変更することがありますので、青女部長までお問い合わせください。

部員はもちろん、初心者の方、以前は雪像制作にとりくんでいた方、ご家族での参加等々、どなたでも大歓迎です。札幌ならではの雪像制作、皆さんのたくさんの参加をお待ちしております！



Y副部長作

Y地本書記作

Y青女部長作

今年は豆しばを作ります。

見本はかわいいとは言えないおじさん顔ですが、実物は可愛らしく出来上がる…はず!?



2009年度制作★リラックマ

「かわいい!」と観光客にも人気でした!